

平成29年度施政方針



本年4月の市長選挙におきまして、市民の皆様のご代表として、引き続き市政の重責を担うこととなりました。身の引き締まる思いと、この4年間、市の発展と住民福祉の向上に全力を傾けてまいりました。私の市政運営に対する努力を市民の皆様から認めていただいたものと受け止めております。改めてその責任の重大さを痛感し、市民の皆様のご先頭に立って市政を執行することの重要性を心に刻み、職務に励んでまいるとともに、市長としての4年間の経験をもとに今後の施策に反映したいと考えています。

さて、国においては、長く続いたデフレからの脱却を目指し、経済の再生を最優先課題と位置付け、「三本の矢」を推進してきました。平成27年10月からは次の段階に移り、一億総活躍社会の実現を目指し、少子高齢化という構造問題に正面から立ち向かい、成長と分配の好循環の実現に向け取り組んでいるところで

あります。これまでの国の施策の実施により、就業者数の増加、賃上げなど雇用環境は、改善してきていると思えます。

他方、経済の先行きについては、海外経済の不確実性や金融市場の変動に留意する必要があります。

誰もが生きがいを持って充実した生活を送ることができ、一億総活躍社会の実現に向け、「新三本の矢」に沿った施策を推進することとしています。

第一の矢である「戦後最大の名目GDP600兆円」については、地方創生・国土強靱化・女性の活躍も含め、あらゆる政策を総動員すること

により、デフレ脱却を確かなものとしつつ、経済の好循環をより確かなものとする。第二の矢である「希望出生率1.8」、第三の矢である「介護離職ゼロ」に向けては、子育て・介護の環境整備等の取組を進め、国民一人ひとりの希望の実現を支え、将来不安を払拭し、少子高齢化社会を乗り越えるための潜在成長率を向上させることとしています。

本市においても、国の動向を注視しながら、市民の皆様のご理解とご協力をいただき、各事業を着実に実行してまいりたいと考えています。

次に、本年度の主要な取り組みについて申し上げます。

国際交流

平成27年の市制施行60周年記念式典において、本市に深いご縁があり、日系の方で初めて米国の州知事に就任されたジョージ・良・アリオシ元ハワイ州知事をお迎えして、記念講演をしていただきました。その縁を大切につないでいくため、中学生を派遣し、ホームステイをしながら異文化体験をし、生活習慣の異なる環境の中で現地の人たちの生活に触れることで自分の考えを伝え

るためのコミュニケーション能力の重要性について認識するとともに、外から日本を見ることによって、新しいものの考え方が生まれ、広い視野で将来について考えるなど、次世代の国際感覚をもった人材育成に努めてまいります。

暮らしの安心と安全

昨年起こった熊本地震などの教訓を生かしつつ、改めて津波対策や南海トラフ地震対策について地域防災力の充実を行い、市民の皆様のご命・財産を守るべく引き続き災害対策の強化に取り組んでまいります。

さらに、台風や集中豪雨による災害をはじめ、地震や津波の発生を想定した防災訓練を計画的に実施し、地域の方々にも積極的に訓練参加を呼びかけ、市民一人ひとりの防災に対する意識付けを行います。また、地区単位での地元説明会を開催し、自主防災組織の組織率向上と活動強化を図り、災害に強い地域づくりを目指します。そして、市民への防災情報や行政情報を迅速に周知するため、防災行政無線を十分に活用するとともに、さらに強化を図ってまいります。

健康・福祉の充実



市長拝命以来、取り組んできたのが「生涯現役社会づくり」です。高齢化は問題ではなく、健康寿命を伸ばして、自宅に閉じこもらずに社会性をもち、活動する生涯現役の市民の方を増やすものです。その具体策のひとつが口腔ケア事業であります。口腔ケア事業をはじめとする健康づくりは長い年月を

かけて、その取組の成果は見られるようになります。地道に二歩ずつ進め、広げてまいりますので、皆様のご理解をお願いいたします。

高齢者福祉・介護予防につきましては、ころばん塾やエアロバイクを利用した健康教室を継続して実施するとともに、認知症施策等にも取り組んでまいります。

子育て支援につきましては、安心して子どもを産み育てることができるよう、乳幼児・子ども医療費の助成や第3子以降保育料無料化制度を継続実施し、子育て世帯の負担軽減を図ってまいります。

産業・観光の振興

企業誘致につきましては、バイオマス発電企業である豊前ニューエナジー合同会社の立地が決定をいたしました。企業の遊休地対策として取り組んでまいりましたが、本年より本格的に動き出す予定で、「未来へつなぐ電源のまち宣言・多様化するエネルギーを活かした循環型社会づくり」をかける本市にとっては、ふさわしい企業の進出と喜んでおります。

農林水産業につきましては、昨年オープンした「うみてらす豊前」に市外から多くのお客様が新鮮で、おいしい旬な魚介類を求めて、足を運んでいただいております。この流れを大きく・太くして地域の活性化を図るため、東九州自動車道の開通により、福岡都市圏をはじめ、北九州や大分圏域の方々に来ていただけるよう魅力アップに努めてまいります。



観光の活性化につきましては、周辺の自治体とも連携して取り組ん

でまいります。東九州自動車道の全線開通や北九州空港の新規国際線就航など京築地域へのアクセスが向上している中、この地域の農海産物においても多種多様な食材があり、地域の食材を活かした観光振興がより一層注目されています。この機会を捉えて、京築管内の観光資源、農林水産資源を活かし、地域を活性化させるため、本年3月に本市で開催いたしました京築地域農水産・観光活性化シンポジウムは、地元の一二次産業及び観光の活性化の機運を盛り上げるものであります。

また、長期利用しやすく滞在していただける古民家を活用した事業や、農村民泊などグリーンツーリズムの取り組みとの相乗効果による本市の認知度の向上・市全体の活性化につなげていきたいと考えております。

このほか、本市の早春の花のシーズンを告げる河津桜に多くの見物客がお見えになります。続く梅やソメイヨシノなどの桜、そして宝福寺山のツツジ祭り、さらに犬ヶ岳のツクシシャクナゲ、そして枝川内アジサイ祭りなど、市内各地に咲き誇る花に遠来からも多数の見物客がためかけてくれます。

花の名所の多くが、民間の皆さんの
 智慧と努力で守り育てられていま
 す。このような花を見て、怒る人はい
 ません。心なごます、元気をくれる
 花を市内各地にもっと多く咲かせ、
 観光客としてたくさんの人を迎え
 入れる豊前づくりを研究していき
 たいと考えています。



教育・文化の振興

教育の充実につきましては、小学
 校の外国語活動を深化させます。
 特に、合岩小学校を中心に英語教
 育を浸透させ、正式な教科になる
 平成32年度には、英語に抵抗なく
 入り込める子供たちを育成してい
 きたいと考えています。さらに、豊前
 市独自の教材を作成し、休み時間
 等に校内放送するなど、英語と触れ
 合う時間を多く持つるように努め
 ます。

文化の振興につきましては、昨年
 3月、国指定重要無形民俗文化財
 となつた豊前神楽や県指定無形民
 俗文化財の大富神社春季神幸祭な
 ど本市にはたくさんさんの文化財があ
 ります。この地域の誇りを地域の皆
 さまと協力して伝統芸能・文化を
 力強く発信してまいります。本年度
 は、本市に他団体をお招きして、神
 楽祭りを開催予定です。それぞれ
 特徴のある神楽ではありますが、子
 供から大人までそれぞれの世代の
 方が見て・聞いて・感じて・楽しんで、
 そして心に響いていただけたらと思
 っています。豊前市でしか出来ない
 ような祭りにしたいと思っています。



さらに、豊前市のシンボルである
 求菩提山は、修験の山として国の史
 跡に指定されており、先ほど述べま
 した豊前神楽は修験の影響を色濃
 く残し、特に、全国的に例のない湯
 立神楽という演目が評価されてい
 ます。子供達がふるさと豊前に誇り
 を持ち、ここに住んでよかつたと思
 えるような学習環境の形成につな
 げるため、歴史読本の作成を行いま
 す。

行財政改革の推進

行財政改革につきましては、財政
 基盤の立て直しのため、規律を緩め
 ることなく、収支の均衡を図り、こ
 れまで以上のコスト意識を持ち、市
 民サービスの向上と未来の子どもた
 ちに豊前の魅力を引き継ぐことを
 基本に、広域で行っている一部事務組
 合や特別会計などについても、無駄
 を省き、活きたお金として使えるよ
 うに引き続き努力してまいります。

以上、申し上げてまいりましたと
 おり、今年度は第5次総合計画後
 期基本計画を策定する重要な年で
 あります。

私を先頭に全庁的に取り組んで
 まいりますので、議員並びに市民の
 皆様のなご一層のご指導と温かいご
 支援、ご協力をよろしくお願い申し
 上げます。

